

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2024-05-01 No. 163

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

## コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary .....	2
IEC: 規格解説: ISO 10605 第3版 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験(1/3)	3
IEC: 新規格リスト .....	5
ISO: 新規格リスト .....	9
UNECE: G7 閣僚、内陸交通からの温室効果ガス排出削減等における UNECE の役割を評価..	10
UNECE: 第 191 回車両規制調和世界フォーラムの報告書(3/3) .....	11
国際テーマ: 温水洗浄便座の規格に関する IEC ワーキンググループ会議が三重県松阪市で開催	13
国際テーマ: IEC: CB スキームプログラムの新規追加 .....	14
国際テーマ: プリント基板のリサイクルの容易化 .....	15
国際テーマ: メキシコにおける新しい製品ラベル要求事項: IFT シールの包含 .....	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	17

USA: FCC: KDB: トランスミッタモジュールデバイス等の組み込み機器 機器認可ガイダンス..	18
USA: FCC: KDB: 57 ~ 71 GHz (60 GHz) 帯域レーダー装置の証明に関するガイダンス .....	18
USA: FCC: KDB: 3G/4G デバイスの SAR 試験手順は? .....	19
USA: DOE: 汎用ランプ(GSL)の省エネ基準に関する最終規則を発行: 2028/7/25 から適用 .....	20
USA: DOE: 米国エネルギー省、無停電電源装置の試験手順に関する最終規則を公布 .....	20
USA: FDA: “医療機器申請のためのフィードバックとミーティングの要請”のドラフト版発行..	22
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	23
USA: IEEE: 新規格リスト .....	24
カナダ: ISED: 無線標準仕様 RSS-123 無線マイクロホン及び無線マルチチャンネル: 意見募集	25
カナダ: ISED: RABC: SRSP-500“陸上移動および固定無線サービスの技術要件” 意見募集 .....	26

EU: 低電圧指令の整合規格が追加: 低電圧開閉装置及び制御装置等 .....	28
UK: 欧州: 一般製品安全と機械に関する指定規格を変更: EN IEC 62368-1:2020 等 .....	28
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	29
EU: ETSI: 新規格リスト .....	31
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト .....	32

中国: SAMR: 業務用ガス燃焼器具及びその他の製品の強制性製品認証(CCC)管理を実施 .....	33
中国: SAMR: 電動自転車と電動自転車用バッテリーの2製品の品質監督抜取検査の実施細則 .....	35
中国: CNCA: 電線・ケーブルなどの各種製品への強制性製品認証(CCC)実施規則 .....	35
中国: CQC: 電動自転車用リチウムイオンバッテリー及び充電器の安全性・性能認証業務更新 .....	36
中国: CQC: 直管型蛍光灯安定器の省エネ認定規則改正に関する通知 .....	37
中国: 新規格リスト .....	38
台湾: BSMI: BSMI 検査対象の「一般室内照明用ランプ」関連検査規格の関連規定の解釈 .....	39
台湾: BSMI: 低圧三相かご形誘導電動機のエネルギー効率基準、効率表示及び検査方法を改正 .....	39
台湾: 新規格リスト .....	39
韓国: KATS: 情報通信分野 国家標準制・改正及び廃止予告(意見収束) 実施通知 .....	40
韓国: KS 新規格リスト .....	41

総務省: 「電波防護指針の在り方」のうち「吸収電力密度の指針値の導入等」について答申 .....	41
総務省: 「90 GHz 帯滑走路面異物検知レーダーに関する技術的条件」情報通信技術分科会 .....	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について一部を改正(予告) .....	44
経済産業省: 既存のガイドラインをアップデート 「AI 事業者ガイドライン(第1.0版)」作成 .....	45
国土交通省: 「大型 車用事故情報計測・記録装置に係る協定規則(第169号)」関連 .....	46
国土交通省: 令和 7/4/1 から建築物の省エネ基準適合の全面義務化や構造関係規定の見直し .....	46

ちょっといっぴく〜小クイズコーナー IEC 62947 はどんな規格? .....	17
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内 .....	27
社長の独り言 .....	47

## IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 – 静電気放電による電気妨害の試験(1/3)

- ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 – 静電気放電による電気妨害の試験方法が、2023-06 付けで、発行された。本規格の主要内容及び前版からの主な変更点を解説する。
- Ed.2 からの主な変更点は以下のとおり:
  - コンポーネントへの直接および間接放電のためのフィールド結合板に関する代替試験セットアップの導入 (通電試験) ;
  - コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して最小放電数が 50 から 10 に変更された、連続する単一放電の間隔が 50 ミリ秒から 1 秒に変更された; 等々

## UNECE: 第 191 回車両規制調和世界フォーラムの報告書(3/3)

- ECE/TRANS/WP.29/1175 - 第 191 回車両規制調和世界フォーラムの報告書が発行された。15 December 2023
- **XV. 1998 年協定の監視: 国連 GTR とその修正の国内/地域法への転置に関する締約国の報告 AC.3** は、2023 年 11 月 9 日の時点でのグローバルレジストリの協定および候補文書概要 (ECE/TRANS/WP.29/1073/Rev.37) の状況に関する事項、1998 年協定の優先順位の状況 (本報告書の付録 IV に再掲されている WP.29-191-08 に基づく) に関する事項、そして、意見交換を継続すべき項目に関する情報に留意した。

## USA: FCC: KDB: 57 ~ 71 GHz (60 GHz) 帯域レーダー装置の証明に関するガイダンス

- FCC 規則 § 15.255 の規定に基づくレーダー装置の証明に関して提供されているガイダンスについて、364244 D01 Meas 15.255 Radars v01 が初回発行された。
- 57 ~ 71 GHz (60 GHz) の周波数帯域での動作を目的としたレーダー デバイスについて、改正規則によって、無人航空機での限定的な使用を含む、車両およびその他のモバイルアプリケーションの可能性の世界が開かれた。

## 中国: SAMR: 業務用ガス燃焼器具及びその他の製品の強制性製品認証(CCC)管理を実施

- 国家市場監督管理総局は、(1) 業務用ガス燃焼器具など製品に対する強制性製品認証(CCC 認証)管理を実施し、(2) 低電圧部品に対する CCC 認証の第三者評価方式を復活させることを決定した。
- (1) 業務用ガス燃焼器具、難燃性電線・ケーブル、電気便座、電動自転車運転者用ヘルメット、可燃性ガス検知警報器製品、水性内壁塗装、防爆ランプ及び制御機器等に CCC 認証管理を導入する。
- (2) 低電圧部品(低圧元器件)の CCC 認証の第三者評価方式を復活させる。2024 年 11 月 1 日以降、低電圧部品は、出荷、販売、輸入、またはその他の事業活動で使用する前に CCC 認証書を取得し、CCC 認証マークを付ける必要がある。

## 総務省: 「電波防護指針の在り方」のうち「吸収電力密度の指針値の導入等」について答申

- 総務省は、本日(令和 6 年 4 月 9 日)、情報通信審議会から、平成 25 年 12 月 13 日付け諮問第 2035 号「電波防護指針の在り方」のうち「吸収電力密度の指針値の導入等」、及び平成 30 年 4 月 25 日付け諮問第 2042 号「携帯電話端末等の電力密度による評価方法」のうち「6 GHz~10 GHz における吸収電力密度の測定方法等」について、一部答申を受けた。

# IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験(1/3)



## Summary

**ISO 10605 Ed.3 2023-06** 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法が、2023-06 付けで、発行された。本規格の主要内容及び前版からの主な変更点を解説する。

さまざまな業界で一般的に使用されている、人間の静電気放電をシミュレートする試験が、自動車環境に完全には適用できないことが判明した。そのため、自動車環境に合わせた試験が、開発された。本文書は、車載電子モジュールと車両の両者に適用できる ESD 試験について説明する。

本文書は、車両での使用を目的とした電子モジュールを評価するために必要な静電気放電 (ESD) 試験方法を次の三項により、規定する。

- 第 8 節 部品へのイミュニティ試験方法 (通電試験)、
- 第 9 節 部品の梱包および取扱いの試験方法 (無通電試験)、及び、
- 第 10 節 車両試験方法(車両を動作させた状態での試験)。

本文書では、ベンチ上の電子モジュール、及び完成車両の両者を評価するための試験手順について説明する。

Ed.2 からの主な変更点は以下のとおり:

- コンポーネントへの直接および間接放電のためのフィールド結合板に関する代替試験セットアップの導入 (通電試験) ;
- コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して最小放電数が、50 から 10 に変更された、連続する単一放電の間隔が、50 ミリ秒から 1 秒に変更された; 等々

1/3

## ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法 Road vehicles – Test methods for electrical disturbances from electrostatic discharge

### 序文

本第 3 版は、第 2 版 (ISO 10605:2008) を廃止し、置き換える。これは技術的な改訂である。本版には、また、修正 ISO 10605:2008/Amd 1 2014, および技術的正誤表 ISO 10605:2008/Cor 1:2010 も組み込まれている。主な変更点は以下のとおり:

- コンポーネントへの直接および間接放電のためのフィールド結合板 field coupling plane を使用しての代替試験セットアップを導入した (通電試験) ;
- コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して最小放電数が、50 から 10 に変更された;
- コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して、連続する単一放電の間隔が、50 ミリ秒から 1 秒に変更された;
- コンポーネントのパッケージングおよび取り扱い試験方法 (非通電試験) に関して、DUT ピンへの放電に対する接地接続の追加;
- 電子モジュールのオプションの試験セットアップと手順 (通電試験) を付属文書 F から本体へ移動;
- 新しい付属文書 G ((参考情報) 試験方法ガイダンス – 自動操作の ESD 試験) を追加



株式会社コスモス・コーポレイション

## 自動車部品の耐水試験についてのご案内

**当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。**

**(JIS D 0203 対応)**

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

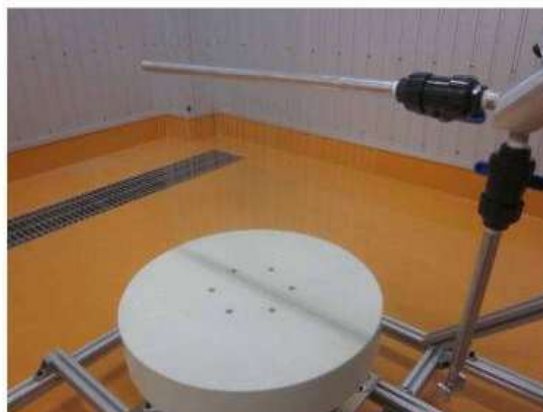
### 評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

### R1 及び R2



### S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1  
URL : [www.safetyweb.co.jp](http://www.safetyweb.co.jp) E-mail : [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)  
【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレイション

## 社長の独り言

2024年4月19日

濱口慶一

長岡科学技術大学大学院工学科修士課程システム安全工学専攻を修了して1年が経ちました。私の後輩として同じ大学院に送った社員も見事総代で修了してくれました。総代は彼にとって非常に栄誉なことですし、生涯の財産となるでしょう。

監督省庁の担当官から“民間から初めて自ら手を上げて NCB になったのだから手を下ろすな”と激励していただいたことを思い出し、療養中に2年間、当社を指導してくださった住本守氏のご恩に報いるためにも、早く完璧な第三者検査機関になるように、品質保証システムの改良にかかりたいと思います。

まず、“経営理念”の再確認として、創立以来、心に留めてきた“お客様への奉仕の心を大切にする”を入れ、“事業者団体として高い倫理観とモラルを堅持していくために、定期的に研修と教育を受け、知識向上と意識改革に努めていく“ことを宣言する文言を入れて改良します。

次に、品質マニュアル、規定集、手順書などのマネジメントシステム文書の階層構成を、品質保証システムの再構築として ISO 9000 の要求に合わせ、認証機関としてお客様の大切な情報を預かる立場なので、ISO/IEC 27001 関連の情報セキュリティマネジメントシステムの一部を組み込みたいと考えています。

厳しいお言葉をいただくことが多かった監督省庁の方から、ISO/IEC 17021-1: 2015(適合性評価マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部: 要求事項)の附属書Cを忘れないようにと言われたことがあります。この附属書Cは、“力量の判定及び維持のためのプロセスフローの例”を示しており、当社の品質マネジメントシステムのベースとなっているISO/IEC 17025:2017(試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項)とISO/IEC 17065:2012(製品認証機関に対する要求事項)にも適用できるものです。これらマネジメントシステムにおいては、意図した結果を得るために必要な知識及び技能を明確にすることで要員の力量を判定することが必要です。このフロー例を参考にしながら、当社の要員の力量管理を行っていきます。

“より良いサービスを、どこよりも早く、適正な価格でお届けする”が、民間企業の活動の基本と思います。物価高の中ではありますが、企業努力によりできるだけお客様に負担をかけることのないようにしてまいります。もし見積り価格などで、以前より不当に上昇しているとお考えの場合は、コスモスへの苦情としてホームページより、社長宛てにお申し付けください。

民間の第三者検査機関として皆様に安心して利用していただけるよう、マネジメントシステムの改善とサービス向上に努めてまいりますので、何卒よろしくご厚意申し上げます。

日本蜜蜂の方は、2群とも無事に冬を越しましたが、桜も散りましたのでそろそろ分蜂の時期になります。多分風の吹かない穏やかな日の昼頃に去って行くでしょう。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [Yamashita-jun@cosmos-corp.com](mailto:Yamashita-jun@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2024-05-01 (No. 163)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2024 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。